

土地改良施設愛護推進事業の実施

農村整備計画課 農村環境保全班

6月23日～7月21日の間、西部振興局(大原野農道)を皮切りに、県下14箇所、743名の参加により土地改良施設愛護推進事業としてダムやため池、海岸、農道等の点検・清掃を実施しました。

土地改良施設愛護推進事業は、平成3年度より耕地関係職員並びに土地改良事業団体連合会で活動を開始し、令和元年度から熱中症対策のため1ヶ月前倒して6月1日～8月10日までを「土地改良施設愛護月間」として定め、農地や農業用排水などの土地改良施設に対する愛護の気持ちを広く県民に理解して頂くことを目的に、土地改良区や地域住民、市町村を含めた地域住民参加型の活動として実施しています。

平成22年度から、愛護活動への参加は農林水産部の総合評価落札方式におけるボランティア活動の評価対象となっており、今年度は112社254名の業者の方に参加を頂きました。

また、平成23年度から、ふるさと水と土指導員の方々に、施設の点検・保全のための指導を頂いており、今年度は41名の参加を頂きました。

今年度も、草刈の安全な間隔確保のため、「密」にならないようフィジカルディスタンスで活動が行われ、無事故で活動を終えることができました。

高齢化や人手不足により、点検・保全もままならない状況で、このような活動が広く周知され、各管理組織で同様の活動が広まり、貴重な「水土里の資源」が次世代に引き継がれて行くことを願っています。



R5.6.23 西部振興局(日田市～玖珠町:大原野農道)



R5.7.7 南部振興局(佐伯市:大中尾ダム)



R5.7.7 豊後大野水利耕地事務所
(豊後大野市:師田原ダム)



R5.7.14 日出水利耕地事務所(杵築市:石山ダム)